

コラム 8-1 アメリカ軍上層部の軍人は高知能

知能検査の発展に大きく関与をしたアメリカ軍では、現在に至るまで、入隊時に全員に知能検査を実施し、その結果を配属などに利用しています。知能が高い人は、最初から特別（エリート）コースに配属されるため、歴代の米軍上層部の人は、いずれも高い知能指数（IQ）の持ち主であることが知られています。

たとえば、1990年に起こった湾岸戦争の時のアメリカ中央軍指令官（事実上の多国籍軍総司令官）のシュワルツコフ氏はIQが168であることが公表されています。IQ 168は、一般的な学力偏差値（50が平均）に直すと、95程度と、非常に高いレベルであることがわかります（出現率は、0.00034%、100万人に1人程度になります。参考までに、万有引力で有名なニュートンの推定IQは150；偏差値で83、出現率0.05%、2000人に1人程度とされています）。彼は、知能が高い人のグループであるメンサの会員でもあります。メンサというのは、特に高い知能をもつ人の交流を目的とした団体で、オックスフォード大学で設立され、現在会員数は世界で約12万人とされています。ずいぶん人数が多いように思えますが、全世界人口中の割合でみると、0.01%以下でしかありません。